



東北商店株式会社
www.tohokushoten.com

被覆線・雑品
非鉄金属買収

貿易業

東北商店株式会社
□本社
大阪市住之江区新北島5-3-16
TEL: 06-6683-8828
□南港事業所
TEL: 06-6613-8838
□千葉支店
TEL: 0436-76-7277

グループ会社

□東北エント株式会社
兵庫県姫路市網干区浜田1585
TEL: 079-271-5025
www.tohoku-ent.com
□東北ライド株式会社
愛知県海部郡西郷町大字蟹江新田
字大海用172番
TEL: 0567-94-5688

日刊メタルレポート

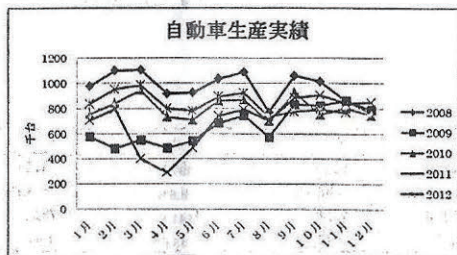
◆自動車生産台数

	9月	10月	11月
生産台数	77万4010台	79万2166台	76万7530台
前年比	-12.4%	-12.4%	-8.4%

◆自動車販売台数

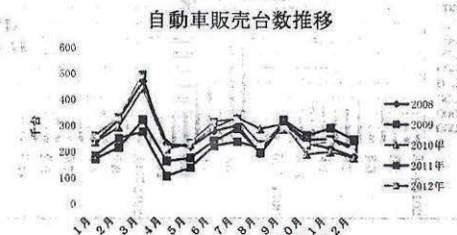
	10月	11月	12月
販売台数	22万5543台	24万3974台	21万4429台
前年比	-9%	-3.3%	-3.4%

自動車生産台数



出典 日本自動車工業会

自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

◆自動車生産台数
日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比八・四％減の七六万七、五三〇台
◆自動車販売台数
日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前年比三・四％減の二二万四、四二九台。

■前月の経済指標
◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比八・四％減の七六万七、五三〇台

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前年比三・四％減の二二万四、四二九台。

二面へ続く

発行所
株式会社 日刊金属新聞社
本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話 (06) 6932-5443 代表
北陸支社 富山市曙町1-30-508号内
電話 (076) 444-6836
購読料 半年44,100円(前納) 3ヵ月22,050円

自動車生産 小幅ながらも依然減少
及び販売

住宅着工戸数 前月に続き二ヶ月増 前年同月比で

橋本金属 橋本健一郎氏リポート①

【概況】 十二月前半は十月の米貿易収支が四二・四億ドルに拡大したことや、十一月の米ISM(製造業景況感指数)が四九・五と三年四カ月の低水準に落ち込むなどマイナスマテリアル材料があつたが、十一月の米雇用統計で失業率が七・七％と改善した事や、FOMCでツイストオペのかわりに米国債を一定金額買い取るの発表を好感し、LME銅相場は八、〇四七ドル(セツル)と約一〇〇ドル上昇しての前半締めとなった。

後半は十二月のNY連銀景況感指数が八・一％減と予測の二％減を大きく下回ったことや、十一月の米新設住宅中古住宅共に着工数がさえないかつた事など悪材料もあつたが、十二月の米PMI指数が五四・二と八カ月の高水準だった事。米財政の崖問題が先送り法案(年収三、九〇〇万円以下への減税延長。自動車出削減の二カ月前送り)の可決によって一日遠のいた事を好感し、一時八、一七〇ドルまで上昇するも、FOMC議事録で債権買取を含む金融緩和について年内終了との意見が台頭してきた事を嫌気し上げ幅は抑えられ、一月八日現在、前半締めから一二五ドル上昇の七九九五ドル、建値七六万円のスタートとなった。

電気銅輸出、前年同月比大幅減

輸入は銅スクラップが大幅増加

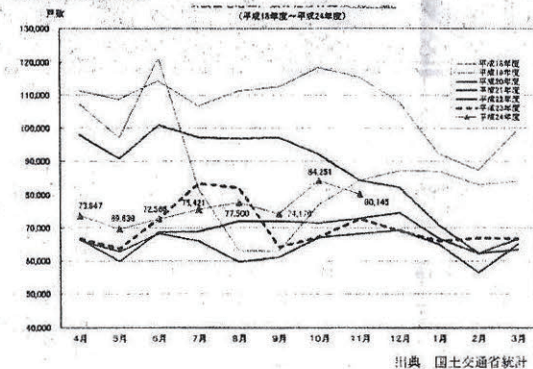
(二面より続く)

【前月の経済指標】

◆新設住宅着工戸数

国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)七・三%減(前年比一〇・三%増)の八万〇、一四五戸であった。

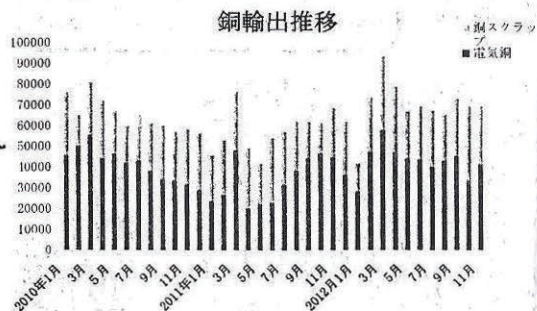
	9月	10月	11月
新設住宅着工数	7万4176戸	8万4251戸	8万146戸
季節調整 前月比	-2.5%	+12.9%	-7.3%
前年比	+15.5%	+25.2%	+10.3%
新設住宅着工件数推移			



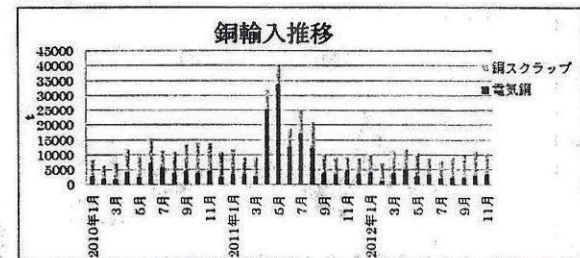
◆貿易関連指標

財務省貿易統計によると、輸出は前年比で電気銅が八・一%減の四万〇、九二一t、スクラップが一九%増の二万八、四二四t。

輸出	9月	10月	11月
電気銅	4万6075t	3万3309t	4万0921t
前年比	+2.9%	-28.2%	-8.1%
スクラップ	2万7832t	3万5872t	2万8424t
前年比	+55.7%	+144.6%	+19%
輸出推移			

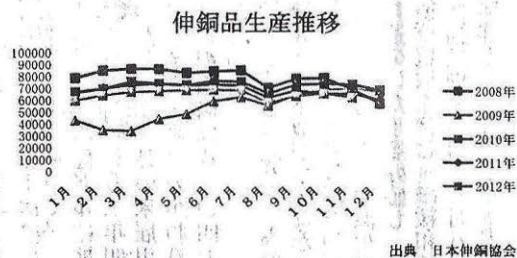


輸入	9月	10月	11月
電気銅	2356t	3097t	3344t
前年比	-38.1%	-8.8%	-28.1%
スクラップ	7436t	8141t	7321t
前年比	+19.9%	+45.8%	+57.0%
輸入推移			



【前月の国内指標】

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前年比五・二%減の六万二、五六〇t。

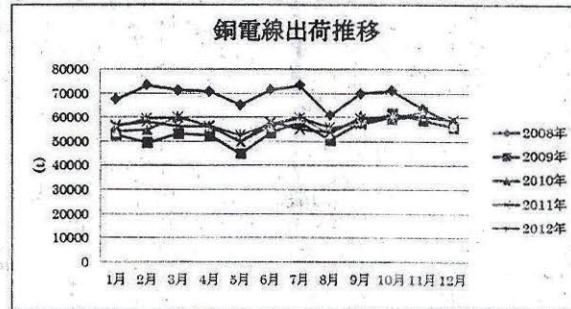


日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は前年比三・一%増の六万二、三〇〇tであった。(六面に続く)

銅相場 上値は八、二〇〇ドルが限界か

メーカーは買い気に乏しい状況

(二面より続く)



需要も伴って大幅増

伸銅品生産量は前年比五・二％減の六万二、五六〇tと再びマイナス。自動車生産の悪化が原因との見解。

銅電線出荷量は、前年比三・一％増の六万二、三〇〇tと三カ月ぶりプラス。住宅の好調が寄与したとの見解。

輸出に関しては、電気銅輸出が前年比八・一％減の四万〇、九二一tと大幅減。銅スクラップは一九％増の二万八、四二四tとここらは大幅増加した。

輸入は電気銅が二八・一％減の三、三四四t。スクラップは五七・〇％増の七、三二一t。スクラップ輸入の大幅増に関して好調な電気銅生産が寄与したとの見解。

銅需要に関しては年末からの価格の急騰の下落リスクや年初、旧正月前などの季節要因から生産量減少による需要減や財政の崖問題が未解決である事の先行き不透明感から、メーカーは買い気薄。

銅価格に関しては、主なテーマである「米財政の崖問題」が二カ月先送りされたことで一月中に新たな展開は考えにくく、さりとて新規プラス材料は望めず、上値は直近高値付近の八、二〇〇ドルが限界。

下値は現在八、〇〇〇ドル近辺を推移している事から欧州債務問題の再燃、中国経済指標の悪化などゴタゴタが加われば下落が考えられ、直近安値七、七〇〇ドルも視野にはいるのでは。

銅建値に関しては七、七六万円程度と予測している。

一三年の実質GDP一〇％台後半へ

株価に将来への期待感が経済団体

解消の可能性があることを期待したい」と述べた。

米倉会長は一三年の日経平均株価の推移について、「今のところ将来に対する期待感がにじみ出ている」と指摘した上で、「アンケートでは八、五〇〇～一万三、五〇〇円と出ており、これが一つの目安だろう」との見方を示した。

円相場については、岡村会頭が「二ドル八五〇～九〇円が日本企業にとつての(適正な)水準と理解している」と強調した。

【見通し】

十二月は欧州懸念は先月に一旦去ったものの、米財政の崖問題(減税の終了と自動歳出削減が同時に起こり米個人消費・経済に悪影響を与える)が台頭した。一旦は法案可決によって二カ月先送りされたものの今後の動向に注視。

自動車生産は前年比八・四％減と一桁悪化に留まったものの、販売の方も三・四％減とまだまだ減少基調。

住宅関連は先月に続き二カ月連続二ケタ増加の前年比一〇・三％増(季節調整済みの前月比七・三％減)の八万〇、一四五戸と復興

米倉弘昌・経団連会長ら経済三団体トップは七日、都内での年頭記者会見で、二〇一三年度の経済成長率や為替相場の推移についての見方を披露した。

一三年度の日本の経済成長率に関しては、日本商工会議所の岡村正会頭と経済同友会の長谷川閑史代表幹事が「実質国内総生産(GDP)で一〇％台後半」との見方で一致。岡村会頭は「名目ではゼロ％台後半」との見通しも示した上で、「外部環境の好転によって、名目が実質を逆転する、つまり、インフレ